

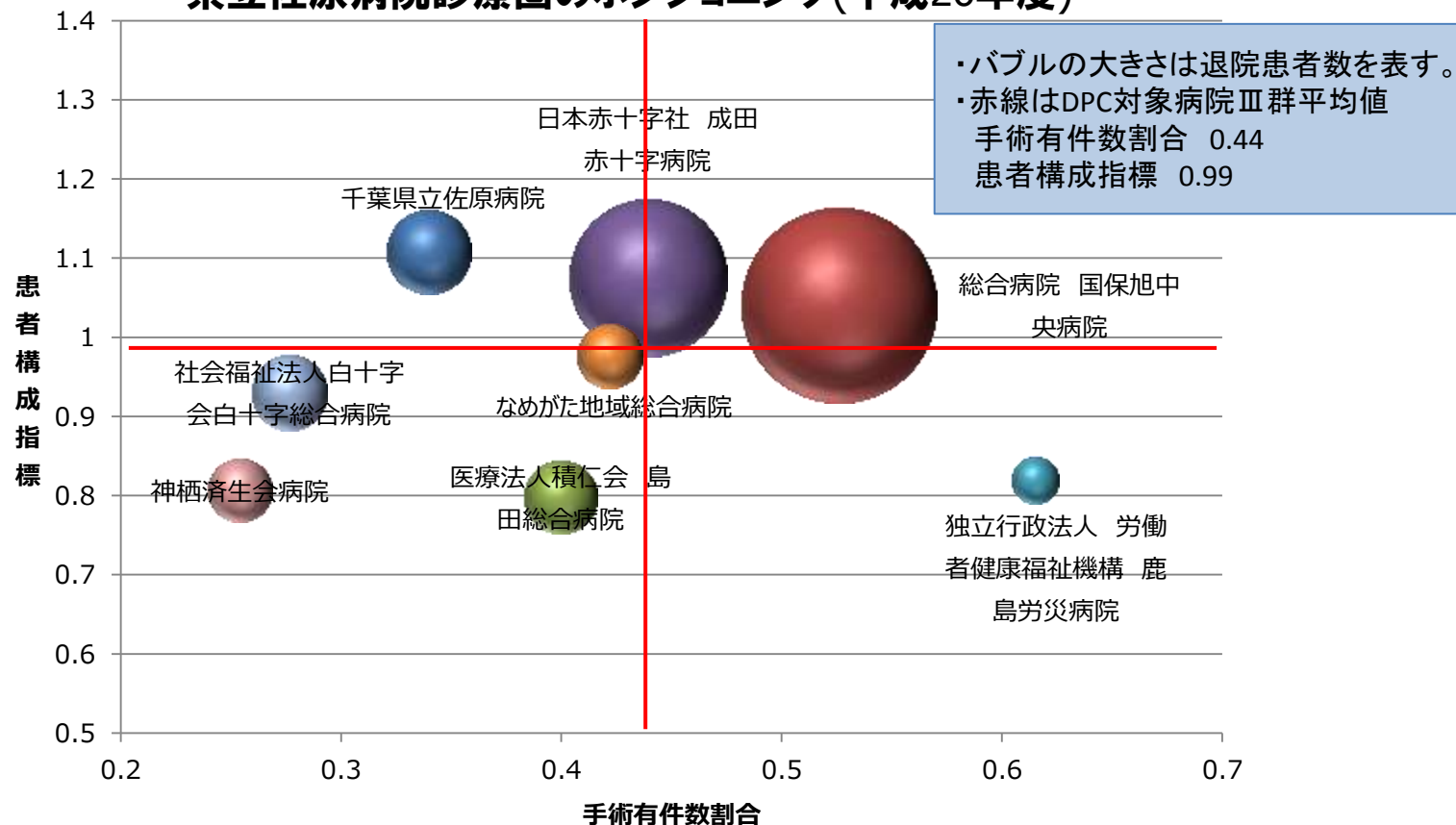
Ⅶ.千葉県立佐原病院

1. 佐原病院の担う役割

1) 佐原病院の提供する医療の概要

- ✓ 佐原病院は、茨城県南部を含む香取周辺地域における基幹病院として一般急性期医療を担うとともに、ニーズの高まっている在宅医療を支える地域包括ケアシステムにおける中心的役割を担うことが求められている。
- ✓ 香取周辺地域において国保旭中央病院、成田赤十字病院に次いで患者数が多く、高度急性期病院を補完する地域中核病院としての役割を果たしている。
- ✓ 地域の高齢化の影響から、佐原病院の患者構成指標は全国平均より高く、在院日数が長い複雑な傷病の患者の占める割合が大きい傾向にある。

県立佐原病院診療圏のポジショニング(平成26年度)



※診療圏：県立佐原病院の患者構成比上位90%を占める、香取海匝医療圏及び成田市、稲敷市、潮来市、神栖市、行方市と定義

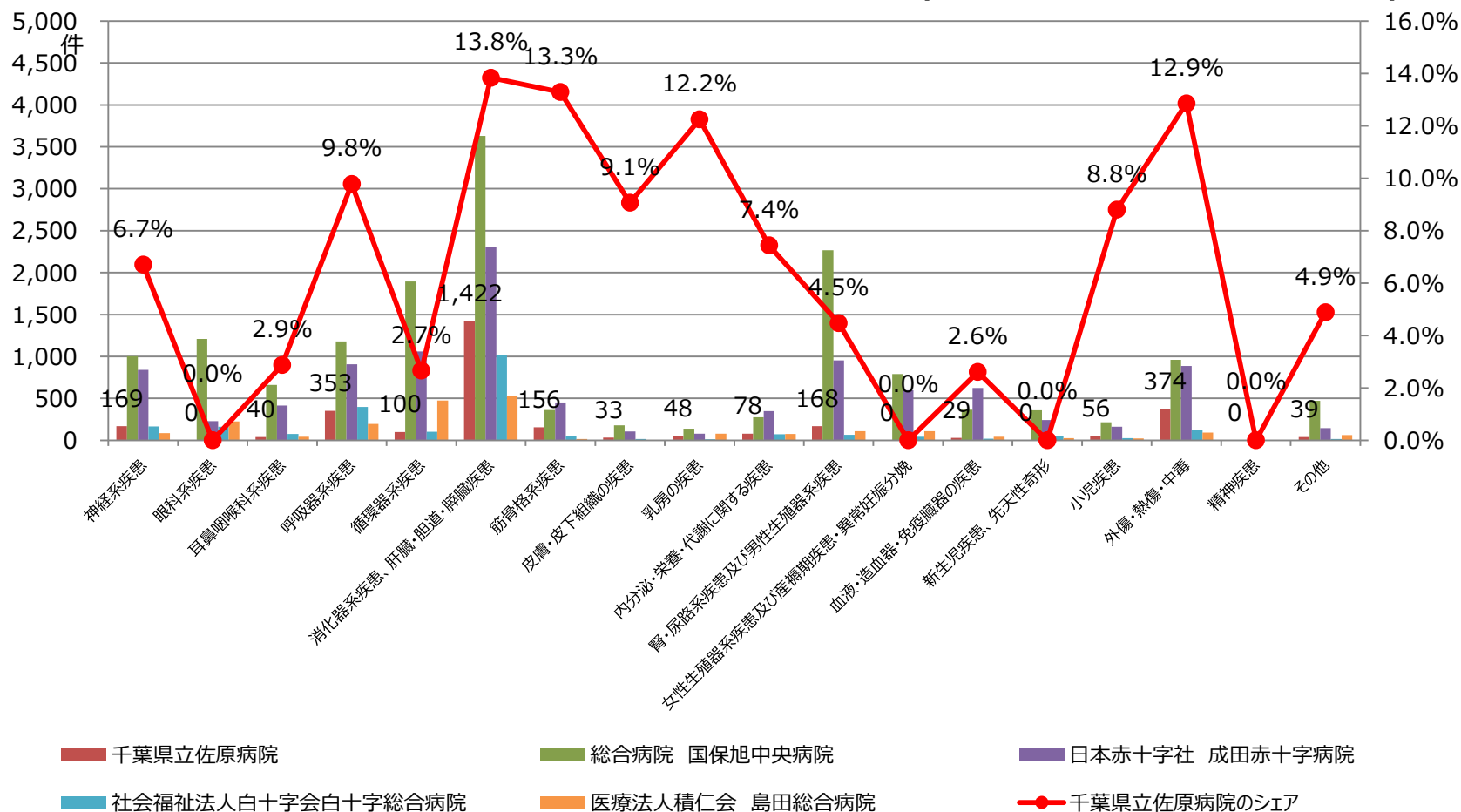
出典：平成27年度第7回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会

1. 佐原病院の担う役割

2) 佐原病院の診療圏における疾患別シェア率

- ✓ 佐原病院は特に、消化器系、筋骨格系、外傷・熱傷・中毒、乳房の疾患等の分野において診療圏で高いシェアを占めている。国保旭中央病院、成田赤十字病院に次いで患者数が多く、高度急性期病院を補完する地域の中核病院としての役割を果たしている。

県立佐原病院診療圏の主要医療機関の疾患別症例数(平成26年度、総数上位5施設)




1. 佐原病院の担う役割


2) 佐原病院の診療圏における疾患別シェア率

県立佐原病院診療圏の入院患者シェア(平成26年度)

施設名	千葉県立 佐原病院	総合病院 国保旭中央病院	医療法人積仁会 島田総合病院	日本赤十字社 成田赤十字病院	独立行政法人 労働者健康福祉機構 鹿島労災病院	なめがた地域 総合病院	社会福祉法人 白十字会 白十字総合病院	神栖済生会病院	合計	
施設所在地	香取市	旭市	銚子市	成田市	神栖市	行方市	神栖市	神栖市	—	
DPC対象病床数	227床	749床	161床	669床	100床	158床	214床	93床	2,371床	
神経系疾患	件数	1,003	85	841	35	180	164	45	2,522	
	シェア率	6.7%	39.8%	3.4%	33.3%	1.4%	7.1%	6.5%	1.8%	100.0%
眼科系疾患	件数	0	1,210	225	228	351	344	163	2,521	
	シェア率	0.0%	48.0%	8.9%	9.0%	13.9%	13.6%	6.5%	0.0%	100.0%
耳鼻咽喉科系疾患	件数	40	661	42	415	32	72	77	1,390	
	シェア率	2.9%	47.6%	3.0%	29.9%	2.3%	5.2%	5.5%	3.7%	100.0%
呼吸器系疾患	件数	353	1,180	196	907	110	230	399	233	3,608
	シェア率	9.8%	32.7%	5.4%	25.1%	3.0%	6.4%	11.1%	6.5%	100.0%
循環器系疾患	件数	100	1,895	473	1,060	29	47	101	53	3,758
	シェア率	2.7%	50.4%	12.6%	28.2%	0.8%	1.3%	2.7%	1.4%	100.0%
消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	件数	1,422	3,630	526	2,311	64	391	1,021	911	10,276
	シェア率	13.8%	35.3%	5.1%	22.5%	0.6%	3.8%	9.9%	8.9%	100.0%
筋骨格系疾患	件数	156	360	16	453	43	87	47	12	1,174
	シェア率	13.3%	30.7%	1.4%	38.6%	3.7%	7.4%	4.0%	1.0%	100.0%
皮膚・皮下組織の疾患	件数	33	179	0	107	0	11	17	17	364
	シェア率	9.1%	49.2%	0.0%	29.4%	0.0%	3.0%	4.7%	4.7%	100.0%
乳房の疾患	件数	48	140	79	80	0	0	13	32	392
	シェア率	12.2%	35.7%	20.2%	20.4%	0.0%	0.0%	3.3%	8.2%	100.0%
内分泌・栄養・代謝 に関する疾患	件数	78	274	77	347	51	28	73	121	1,049
	シェア率	7.4%	26.1%	7.3%	33.1%	4.9%	2.7%	7.0%	11.5%	100.0%
腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	件数	168	2,265	108	955	26	79	66	88	3,755
	シェア率	4.5%	60.3%	2.9%	25.4%	0.7%	2.1%	1.8%	2.3%	100.0%
女性生殖器系疾患及び 産褥期疾患・異常妊娠分娩	件数	0	789	108	597	0	0	41	0	1,535
	シェア率	0.0%	51.4%	7.0%	38.9%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	100.0%
血液・造血器・免疫臓器の疾患	件数	29	364	44	623	0	12	18	23	1,113
	シェア率	2.6%	32.7%	4.0%	56.0%	0.0%	1.1%	1.6%	2.1%	100.0%
新生児疾患、先天性奇形	件数	0	357	25	243	0	0	55	0	680
	シェア率	0.0%	52.5%	3.7%	35.7%	0.0%	0.0%	8.1%	0.0%	100.0%
小児疾患	件数	56	215	24	163	0	35	26	117	636
	シェア率	8.8%	33.8%	3.8%	25.6%	0.0%	5.5%	4.1%	18.4%	100.0%
外傷・熱傷・中毒	件数	374	959	93	888	196	253	128	18	2,909
	シェア率	12.9%	33.0%	3.2%	30.5%	6.7%	8.7%	4.4%	0.6%	100.0%
精神疾患	件数	0	0	0	10	0	0	0	0	10
	シェア率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	件数	39	471	62	146	0	43	15	22	798
	シェア率	4.9%	59.0%	7.8%	18.3%	0.0%	5.4%	1.9%	2.8%	100.0%
総数	件数	3,065	15,952	2,183	10,374	937	1,812	2,424	1,743	38,490
	シェア率	8.0%	41.4%	5.7%	27.0%	2.4%	4.7%	6.3%	4.5%	100.0%

 診療圏で最もシェアが高い病院

 診療圏で2番目にシェアが高い病院

 診療圏で3番目にシェアが高い病院

1. 佐原病院の担う役割

3) 佐原病院の医療圏別入院患者数の状況

- ✓ 佐原病院の入院患者は、香取海匝医療圏居住者が7割程度を占めており、地域医療の中核病院としての役割を担っている。また、隣接医療圏及び茨城県からも来院している。

千葉県立佐原病院の住所地別実入院患者数(平成27年度,積上げ構成比90%以内)

都道府県	市区町村	医療圏	実入院患者数	構成比	積上げ構成比
千葉県	香取市	香取海匝	2,271	68.2%	68.2%
千葉県	成田市	印旛	179	5.4%	73.6%
茨城県	稲敷市	取手・竜ヶ崎	163	4.9%	78.5%
茨城県	潮来市	鹿行	149	4.5%	83.0%
千葉県	香取郡神崎町	香取海匝	111	3.3%	86.3%
千葉県	東庄町	香取海匝	57	1.7%	88.0%
茨城県	神栖市	鹿行	54	1.6%	89.6%
茨城県	行方市	鹿行	45	1.4%	91.0%
総計			3,029	100.0%	-

- ✓ 平成26年度から27年度にかけて、医業収支・経常収支共に減少している。
- ✓ 要因としては、入院・外来患者数の減少による影響が大きい。

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	実績	実績
収益	医業収益	4,039	3,790	3,509
	入院収益	2,884	2,576	2,363
	入院診療単価	45,011	44,001	44,160
	延入院患者数	64,064	58,553	53,519
	(参考)手術件数	1,197	1,008	1,046
	外来収益	1,156	1,090	1,033
	外来診療単価	8,765	9,035	9,118
	延外来患者数	131,861	120,627	113,269
	(参考)紹介件数	3,988	4,093	4,337
	医業外収益	662	807	820
特別利益	0	89	97	
収益 計		4,702	4,686	4,427
費用	医業費用	4,825	5,137	5,040
	給与費	2,736	2,986	2,940
	材料費	992	924	819
	薬品費	565	545	467
	診材費	387	342	318
	経費	893	974	1,020
	医業外費用	97	84	110
特別損失	163	70	0	
費用 計		5,086	5,291	5,150
医業収支		-786	-1,347	-1,531
経常収支		-221	-624	-820

平成28年度	
当初目標	平成27年度実績に対する達成率
4,621	75.9%
3,291	71.8%
44,142	105.3%
74,556	71.8%
-	-
1,182	87.4%
8,639	84.9%
136,765	82.8%
-	-
698	117.6%
-	-
5,319	83.2%
5,152	102.2%
3,035	103.3%
1,005	122.8%
643	137.8%
357	112.1%
924	90.6%
79	72.3%
-	-
5,231	101.6%
-531	34.7%
87	10.7%

達成率95%未満

100%未満

100%以上

105%以上

※表中の各項目の合計値は、四捨五入の関係で一致しないことがある。

出典：中期経営計画実績および目標データ

単位：百万円

✓ 平成25年度から27年度にかけて医師が減少しており、患者数の減少と収支の悪化に影響している。

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	実績	実績
新入院患者数	(人)	3,813	3,401	3,334
新外来患者数	(人)	17,732	16,593	16,073
病床利用率	(%)	83.2	76.2	68.0
平均在院日数	(日)	16.1	16.2	15.1
医師数	(人)	40	35	32
医業収支比率	(%)	86.5	73.8	69.6
経常収支比率	(%)	98.2	88.1	84.1
給与費比率	(%)	65.6	78.8	83.8
材料費比率	(%)	23.8	24.4	23.3
経費比率	(%)	21.4	25.7	29.1
紹介率	(%)	61.1	40.5	44.4

平成28年度	
当初目標	平成27年度実績に対する達成率
3,884	85.8%
17,083	94.1%
96.8	70.2%
16.9	111.9%
-	-
89.7	77.6%
101.7	82.7%
65.7	78.4%
21.8	93.2%
20.0	68.8%
43.4	102.3%

達成率95%未満

100%未満

100%以上

105%以上

3. 佐原病院のベンチマーク分析

- ✓ 医業収支比率がベンチマーク病院と比較して低い水準にある。
- ✓ 医業収益の低さが主な要因である。特に入院収益が低く、診療単価と病床利用率の向上が求められる。

項目	単位	平成26年度 千葉県立佐原病院	平成26年度 ベンチマーク平均	ベンチマークとの差異
病床数	床	241	262	
医業収支比率	%	72.9%	85.9%	-13.0%
経常収支比率	%	86.0%	99.6%	-13.6%
医業収益/100床	千円	1,568,126	1,825,916	-257,790
入院収益/100床	千円	1,069,006	1,310,281	-241,276
病床利用率	%	66.6	73.7	-7.1
平均在院日数	日	16.2	14.8	1.4
入院診療単価	円	44,000	50,395	-6,395
外来収益/100床	千円	451,582	492,187	-40,605
1日平均患者数/100床	人	205	174	31
外来診療単価	円	9,022	11,661	-2,639
医業費用/100床	千円	2,151,056	2,124,588	26,469
職員給与費比率(対医業収益)	%	82.8%	64.5%	18.3%
光熱水費比率(対医業収益)	%	2.6%	2.1%	0.5%
委託料比率(対医業収益)	%	8.1%	8.5%	-0.3%
薬品費比率(対医業収益)	%	9.8%	11.3%	-1.5%
医療材料費比率(対医業収益)	%	21.9%	23.3%	-1.4%

※ベンチマーク病院の平均値は、病床数150-300床、医業収支比率が88%以上の県立・市立11病院を対象病院として算出した平成26年度平均値を用いた。

出典：平成26年度公営企業年鑑

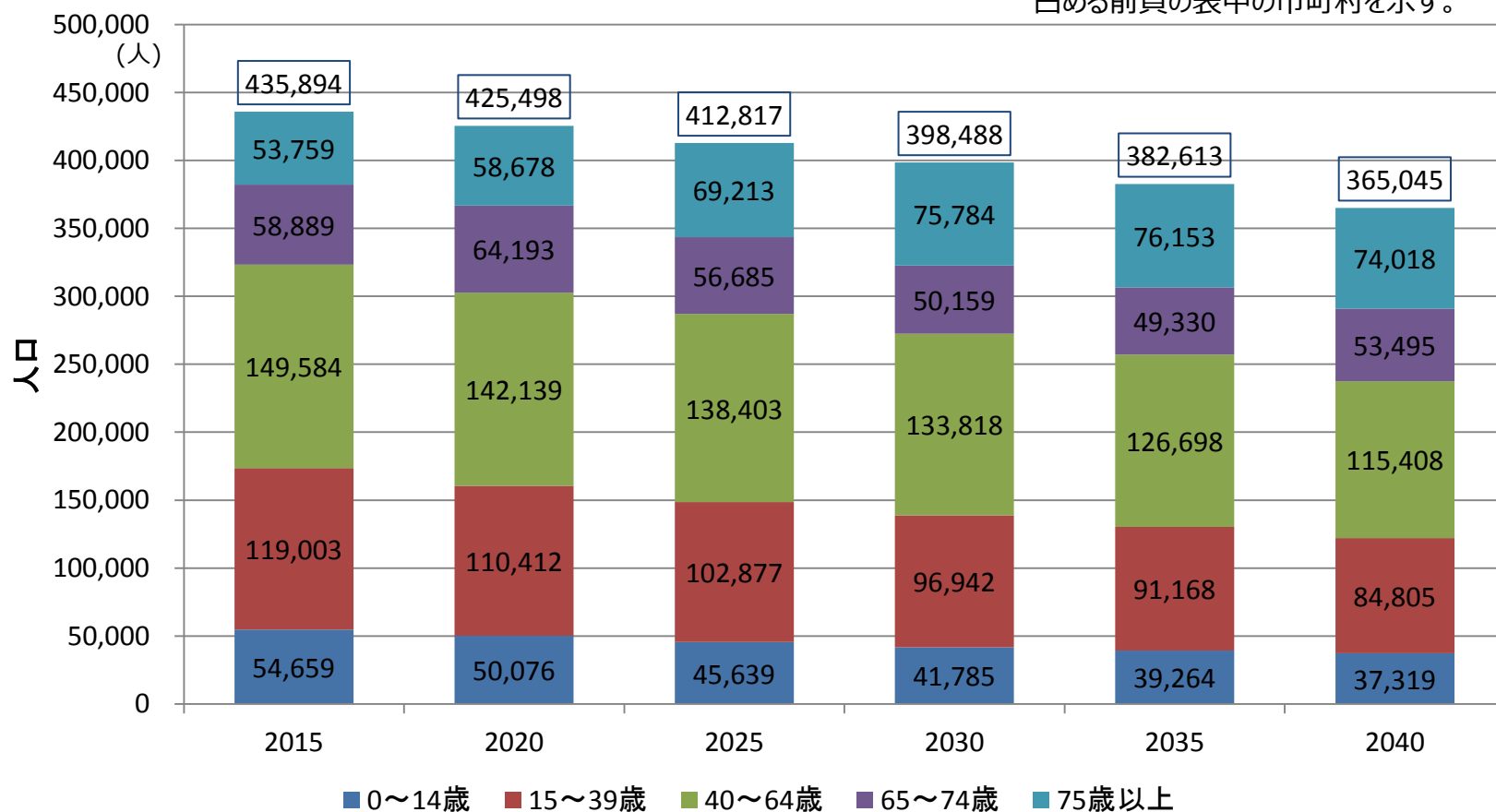
4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

1) 診療圏の将来推計人口

- ✓ 診療圏では、2015年以降一貫して減少する見込みである。
- ✓ 年齢階層別では、75歳以上の後期高齢者は2035年まで、65歳～74歳の階層は2020年まで増加する。一方、他の年齢階層では、人口が減少する見込みである。

診療圏の将来人口推移

※診療圏とは、佐原病院の入院患者の90%を占める前頁の表中の市町村を示す。



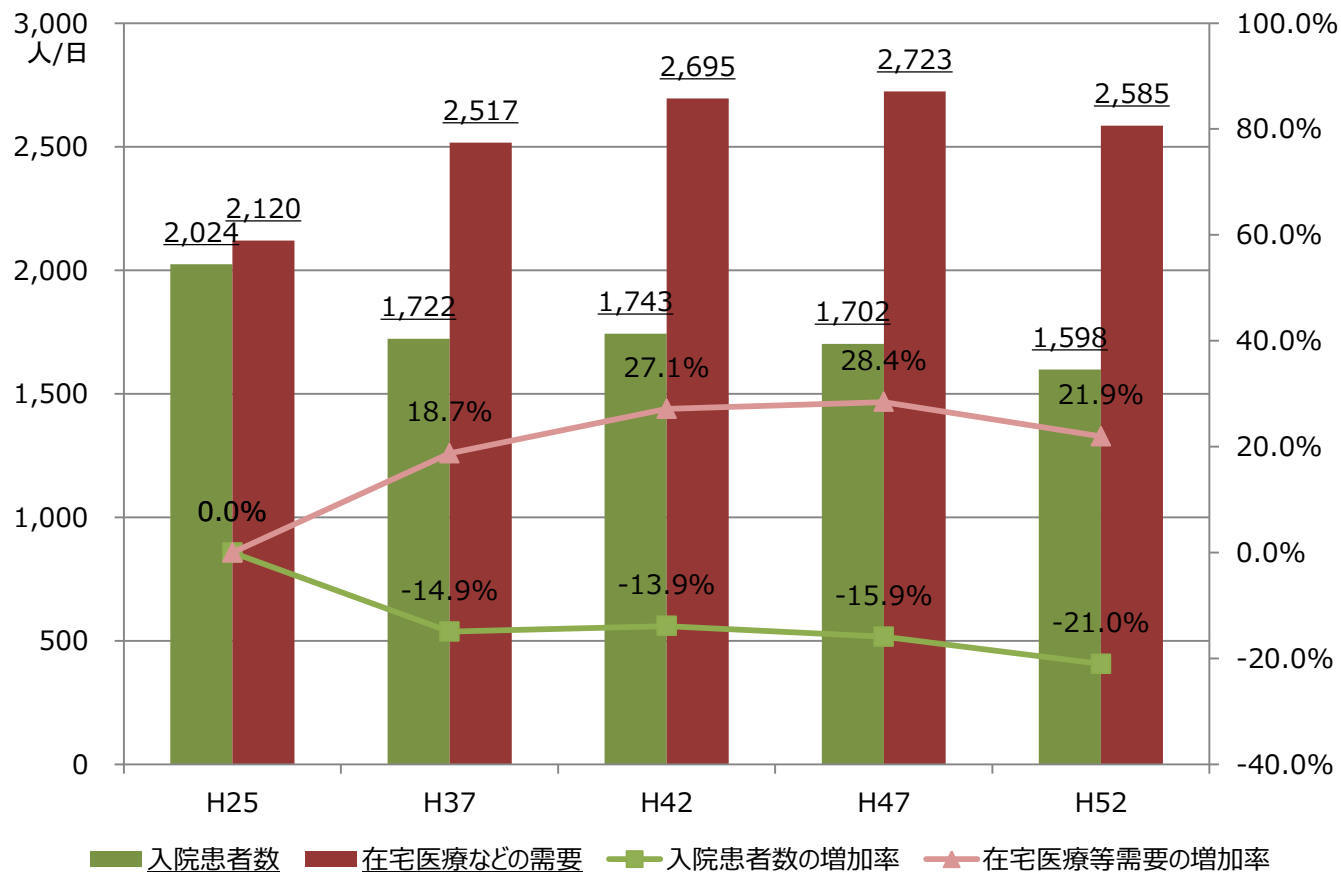
出典：国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（都道府県・市区町村）」

4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

2) 医療圏内に住所を有する入院患者数及び在宅医療等の需要の推移(地域医療構想)

- ✓ 一般病床及び療養病床への入院患者数は、平成25年度から平成37年度にかけて302人/日(15%)の減少が見込まれている。一方で、在宅医療等の需要(患者数)は、平成25年度から平成37年度にかけて397人/日(19%)の増加が見込まれている。

医療圏の将来推計入院患者数、在宅医療などの需要(患者数)推移及び増加率



4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

3) 診療科別入院延患者数の推移

✓ 下記の診療科の患者数が減少している。

▲ 10%以上の診療科(H25-H27比較) : 内科、整形外科、脳神経外科、小児外科、眼科、リハ科、歯科

入院延患者数推移

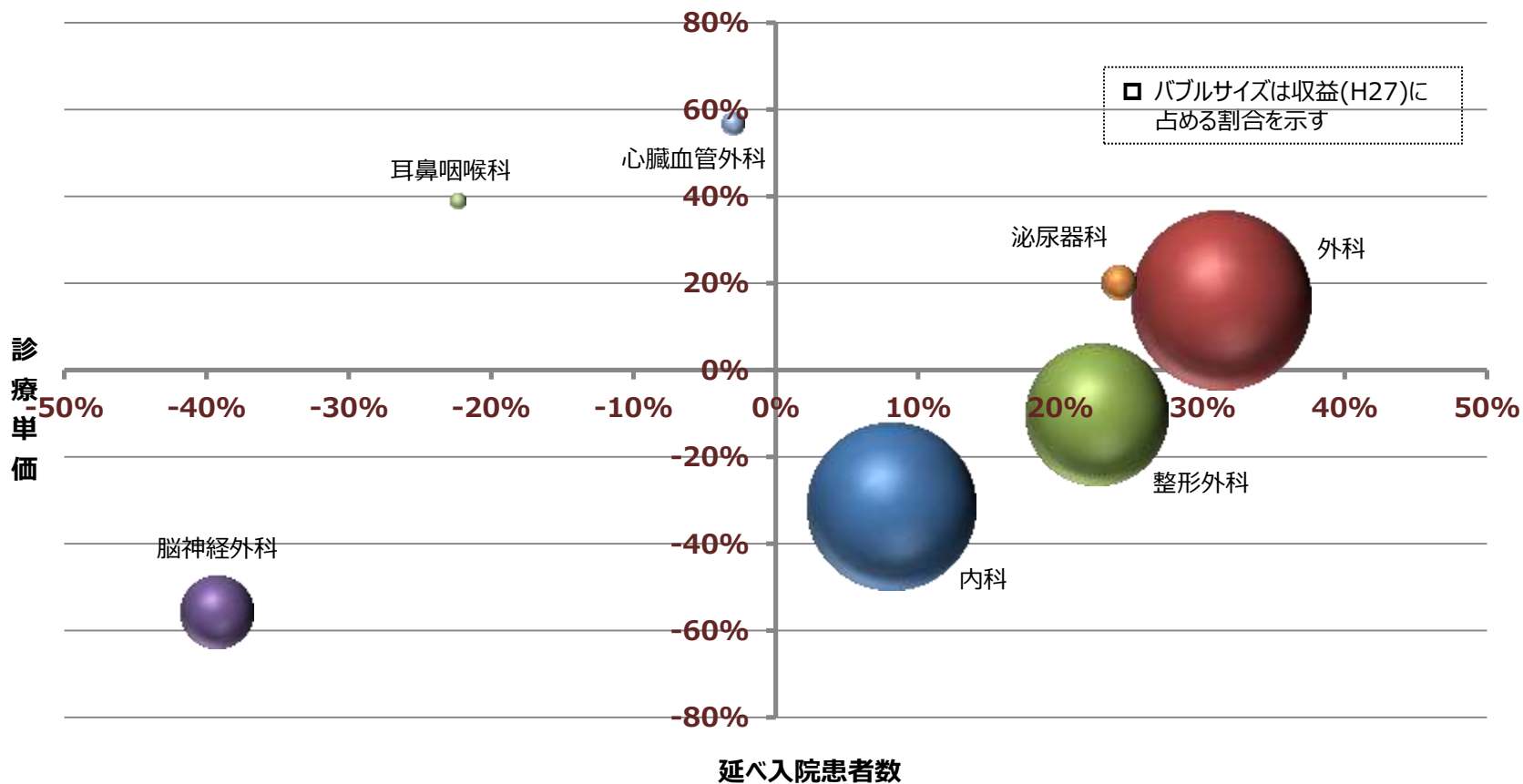
診療科	入院延患者数 (人)				比較 対平均 (H27)	増減		
	H25	H26	H27	平均		H25-H26	H26-H27	H25-H27
内科	29,360	24,775	20,163	24,766	▲ 18.6%	▲ 15.6%	▲ 18.6%	▲ 31.3%
外科	15,254	16,618	17,723	16,532	7.2%	8.9%	6.6%	16.2%
整形外科	11,752	13,211	10,555	11,839	▲ 10.8%	12.4%	▲ 20.1%	▲ 10.2%
脳神経外科	6,235	2,979	2,764	3,993	▲ 30.8%	▲ 52.2%	▲ 7.2%	▲ 55.7%
小児外科	22	0	2	8	▲ 75.0%	▲ 100.0%	-	▲ 90.9%
泌尿器科	627	597	754	659	14.4%	▲ 4.8%	26.3%	20.3%
心臓血管外科	239	215	375	276	35.7%	▲ 10.0%	74.4%	56.9%
眼科	306	0	0	102	▲ 100.0%	▲ 100.0%	-	▲ 100.0%
耳鼻咽喉科	105	126	146	126	16.2%	20.0%	15.9%	39.0%
リハビリテーション科	9,118	8,767	7,967	8,617	▲ 7.5%	▲ 3.8%	▲ 9.1%	▲ 12.6%
歯科	164	32	37	78	▲ 52.4%	▲ 80.5%	15.6%	▲ 77.4%
合計	64,064	58,553	52,519	58,379	▲ 10.0%	▲ 8.6%	▲ 10.3%	▲ 18.0%

4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

4) 入院延患者数と診療単価の増減

- ✓ 医師数の減少に伴い内科で患者数が減少している。また、整形外科でも患者数の減少傾向が見られ、これらの診療科の収益減少が医業収益に与える影響が大きいと想定される。
- ✓ 医師が0となったことに伴い、脳神経外科は診療単価、患者数ともに減少している。

入院延患者数と診療単価の増減比較(H25-H27)



4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

5) 診療科別外来延患者数の推移

✓ 下記の診療科の患者数が減少している。

▲ 10%以上の診療科（H25-H27比較）：内科、小児科、小児外科、皮膚科、眼科、放射線科、リハ科、歯科

▲ 5%以上10%未満の診療科（H25-H27比較）：脳神経外科、心臓血管外科

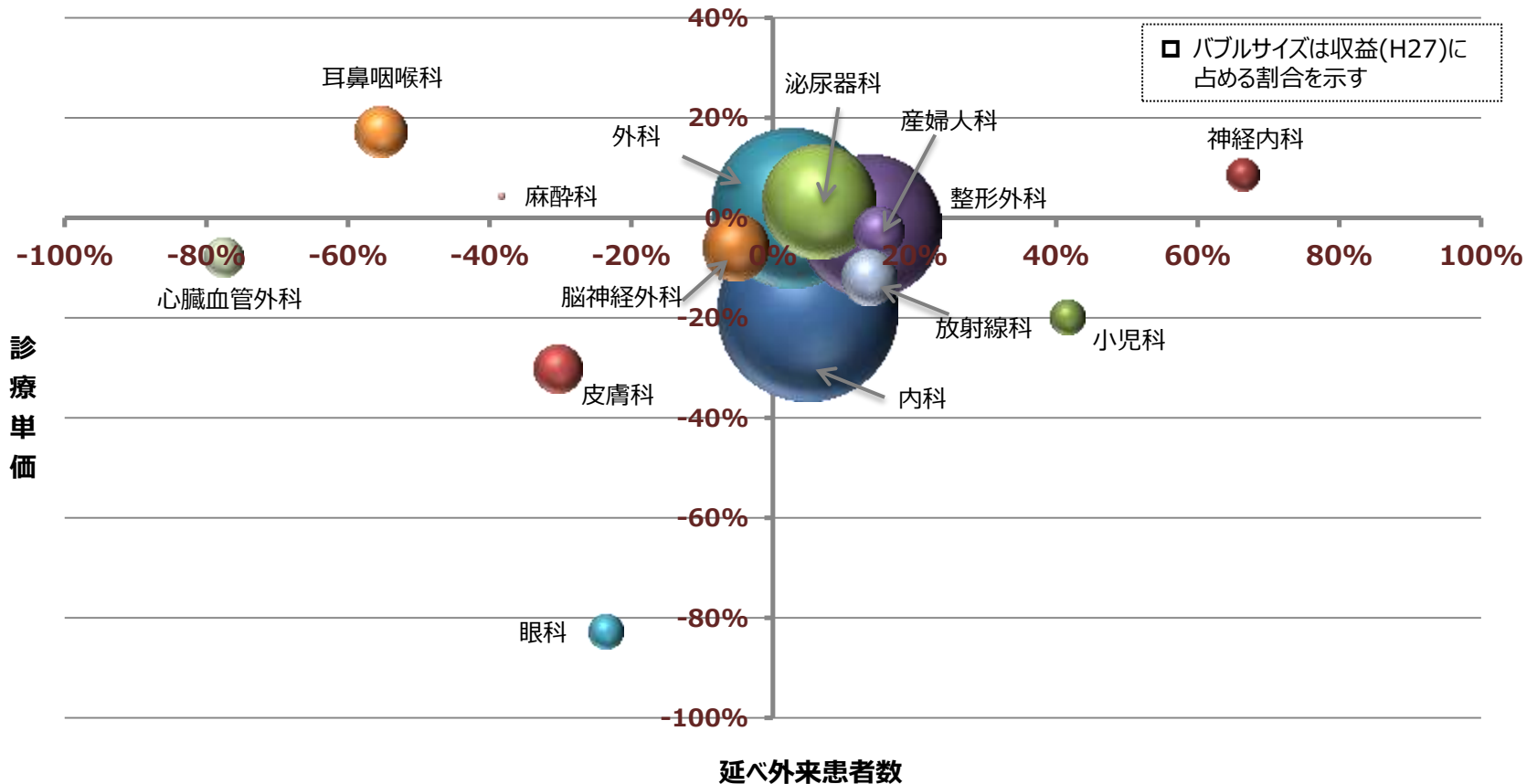
外来延患者数推移

診療科	外来延患者数（人）				比較 対平均 (H27)	増減		
	H25	H26	H27	平均		H25-H26	H26-H27	H25-H27
内科	37,695	34,108	30,696	34,166	▲ 10.2%	▲ 9.5%	▲ 10.0%	▲ 18.6%
内科	34,794	31,486	28,340	31,540	▲ 10.1%	▲ 9.5%	▲ 10.0%	▲ 18.5%
呼吸器内科	1,522	1,559	1,581	1,554	1.7%	2.4%	1.4%	3.9%
精神内科	1,205	940	749	965	▲ 22.4%	▲ 22.0%	▲ 20.3%	▲ 37.8%
女性外来	44	43	26	38	▲ 31.0%	▲ 2.3%	▲ 39.5%	▲ 40.9%
緩和ケア	130	80	0	70	▲ 100.0%	▲ 38.5%	▲ 100.0%	▲ 100.0%
神経内科	1,264	1,362	1,374	1,333	3.1%	7.8%	0.9%	8.7%
小児科	3,054	2,744	2,451	2,750	▲ 10.9%	▲ 10.2%	▲ 10.7%	▲ 19.7%
外科	12,444	12,093	12,696	12,411	2.3%	▲ 2.8%	5.0%	2.0%
整形外科	29,214	29,063	28,760	29,012	▲ 0.9%	▲ 0.5%	▲ 1.0%	▲ 1.6%
脳神経外科	4,892	4,720	4,606	4,739	▲ 2.8%	▲ 3.5%	▲ 2.4%	▲ 5.8%
小児外科	178	135	144	152	▲ 5.5%	▲ 24.2%	6.7%	▲ 19.1%
皮膚科	5,331	3,780	3,727	4,279	▲ 12.9%	▲ 29.1%	▲ 1.4%	▲ 30.1%
泌尿器科	11,620	11,846	12,013	11,826	1.6%	1.9%	1.4%	3.4%
産婦人科	2,660	2,566	2,590	2,605	▲ 0.6%	▲ 3.5%	0.9%	▲ 2.6%
眼科	9,680	4,799	1,687	5,389	▲ 68.7%	▲ 50.4%	▲ 64.8%	▲ 82.6%
耳鼻咽喉科	2,423	2,756	2,842	2,674	6.3%	13.7%	3.1%	17.3%
放射線科	2,028	2,058	1,789	1,958	▲ 8.6%	1.5%	▲ 13.1%	▲ 11.8%
麻酔科	68	73	71	71	0.5%	7.4%	▲ 2.7%	4.4%
リハビリテーション科	4,652	4,301	4,154	4,369	▲ 4.9%	▲ 7.5%	▲ 3.4%	▲ 10.7%
歯科	7,514	6,822	6,168	6,835	▲ 9.8%	▲ 9.2%	▲ 9.6%	▲ 17.9%
心臓血管外科	1,796	1,702	1,655	1,718	▲ 3.6%	▲ 5.2%	▲ 2.8%	▲ 7.9%
合計	131,861	120,627	113,269	121,919	▲ 7.1%	▲ 8.5%	▲ 6.1%	▲ 14.1%

6) 外来延患者数と診療単価の増減

- ✓ 内科の患者数が減少しており、収益減少に与える影響が大きいと想定される。
- ✓ 脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、眼科は診療単価、患者数ともに減少している。いずれも、医師数が0となった、ないし1人態勢の診療科である。

外来延患者数と診療単価の増減比較(H25-H27)



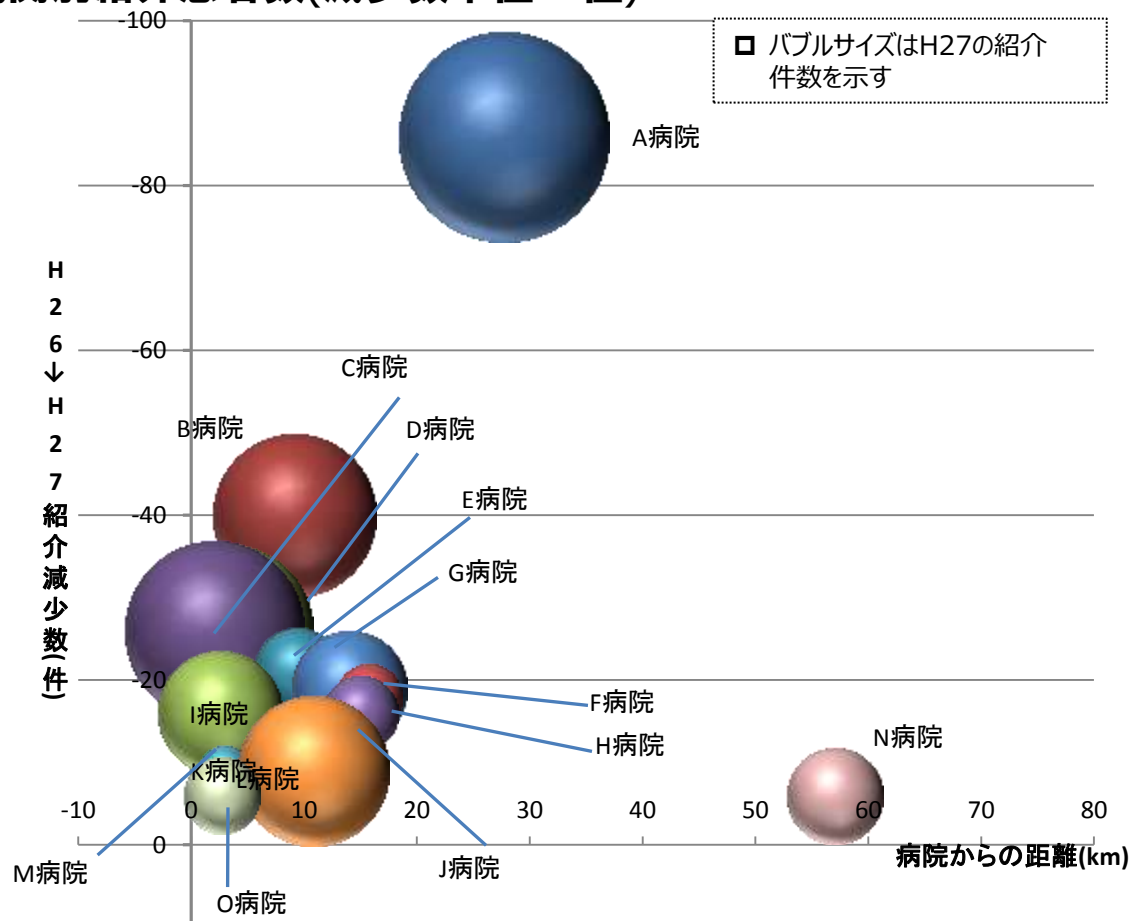
4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

7) 紹介件数の推移

- ✓ 紹介患者数は、H25-27で合計では増加している。一方で、紹介元医療機関別では、特にA病院、B病院、C病院、D病院、E病院から紹介件数が減少している。

医療機関別紹介患者数(減少数下位20位)

紹介元施設名	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H26→ H27 増減数
A病院	189	257	171	-86
B病院	96	143	103	-40
C病院	71	141	115	-26
D病院	158	151	125	-26
E病院	49	51	30	-21
F病院	58	28	8	-20
G病院	69	70	51	-19
H病院	28	35	17	-18
I病院	83	76	60	-16
J病院	42	38	22	-16
K病院	23	19	10	-9
L病院	152	97	88	-9
M病院	-	10	1	-9
N病院	45	42	36	-6
O病院	40	29	23	-6
P病院	11	18	12	-6
Q病院	7	5	0	-5
R病院	35	40	36	-4
S病院	18	13	10	-3
T病院	28	20	17	-3
総計	3,988	4,093	4,337	244



出典：千葉県立佐原病院紹介患者データ

4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

8) 救急搬送患者数の推移

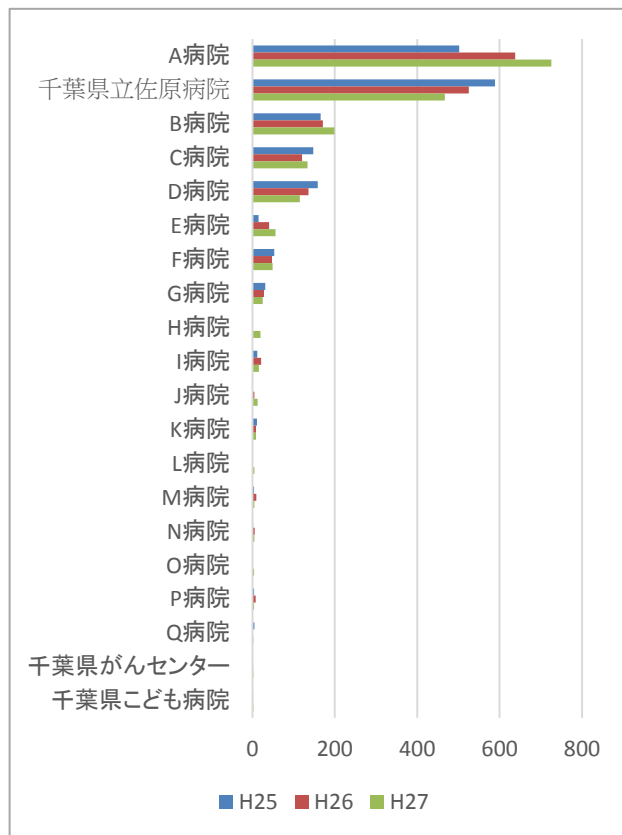
- ✓ 香取市の救急患者数は、平成26年度から27年度にかけて、中等症は減少、軽症・重症は増加傾向にある。
- ✓ 佐原病院は、軽症では受入数第1位、中等症・重症では第2位であり、救急基幹センターとしての役割を果たしていると言える。

香取市の医療機関別・重症度別救急患者数の状況(単位:件)

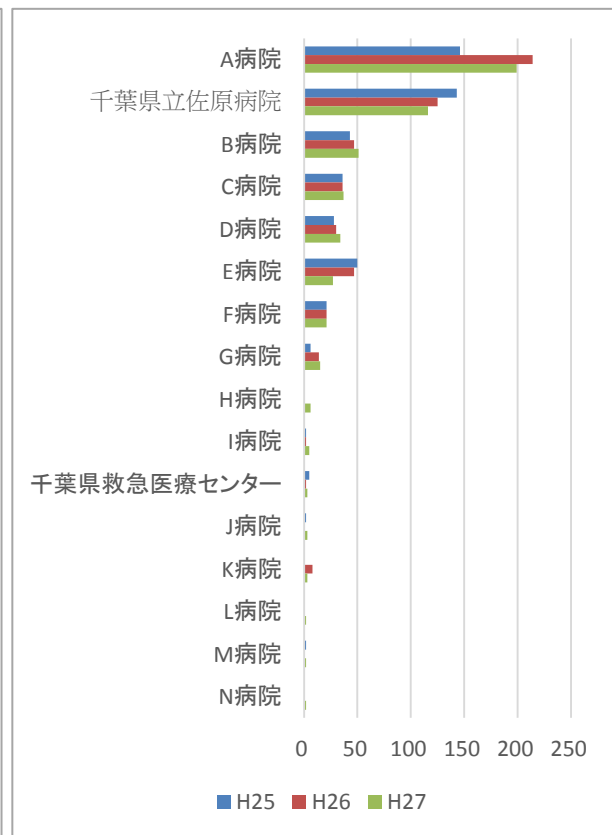
<軽症・医療機関別・上位20>



<中等症・医療機関別・上位20>



<重症・医療機関別・上位20>



合計	H25	H26	H27	増加率
	1,604	1,591	1,613	-0.8%

合計	H25	H26	H27	増加率
	1,709	1,726	1,815	1.0%

合計	H25	H26	H27	増加率
	500	545	522	9.0%

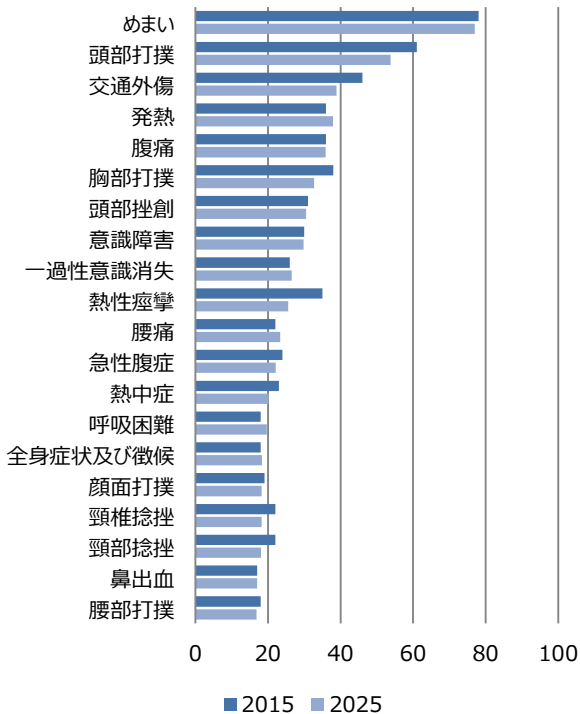
出典：香取郡市救急搬送データ

4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

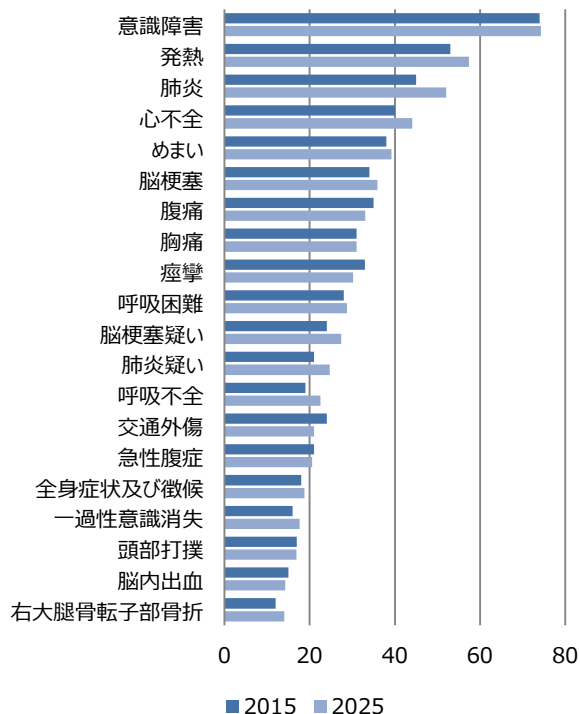
9) 香取市救急隊経由 将来推計救急患者数

- ✓ 香取市の救急搬送患者は、将来的には軽症は減少、中等症・重症は増加の見込みである。
- ✓ 軽症患者はめまい、頭部打撲、交通外傷等、中等症患者は意識障害、発熱、肺炎等、重症患者は心肺停止、意識障害、脳内出血等が多いと考えられる。

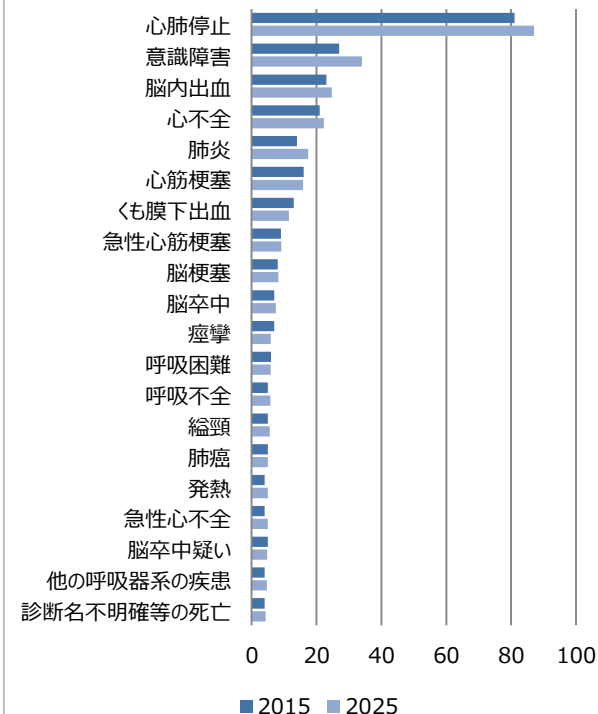
2015～2025年 香取市 軽症
傷病別推計救急患者 上位20



2015～2025年 香取市 中等症
傷病別推計救急患者 上位20



2015～2025年 香取市 重症
傷病別推計救急患者 上位20



合計	2015	2025	増加率
	1,614	1,537	-4.7%

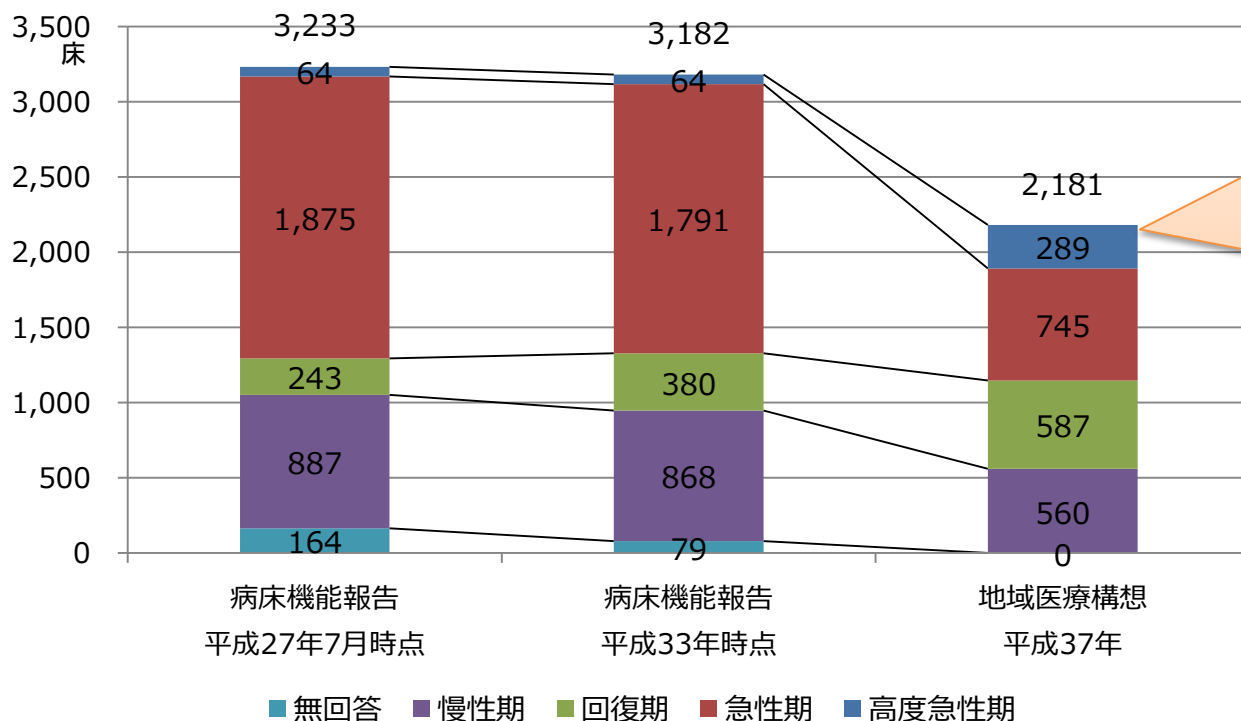
合計	2015	2025	増加率
	1,815	1,864	2.7%

合計	2015	2025	増加率
	522	555	6.3%

4. 佐原病院の経営分析の主要ポイント

10) 香取海浜医療圏の地域医療構想を踏まえた機能別病床数の推移

- ✓ 病床機能報告による病床数と、地域医療構想による平成37年度の病床数を比較すると、人口減少の影響から、急性期・慢性期の病床が過剰となる見込みで、合計でも1,052床過剰となる見込みである。
- ✓ 一方、高度急性期、回復期の病床は不足する見込みである。



高度急性期：225床不足
急性期：1,130床過剰
回復期：344床不足
慢性期：327床過剰
合計：1,052床過剰

<佐原病院の病床機能報告に基づく病床数>

		病床数					
		合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
佐原病院	平成27年7月時点	237	-	227	-	-	10
	平成33年時点	237	-	227	-	-	10

5. 佐原病院が果たしている役割

地域中核病院としての役割

- ✓ 香取周辺地域における基幹病院として、一般急性期医療を担うとともに、ニーズの高まっている在宅医療を支える地域包括ケアシステムにおける中心的役割を担うことが求められている。
- ✓ 地域医療構想では、医療圏における入院患者数が今後減少が見込まれている一方で、在宅医療の患者数は、平成47年まで増加が見込まれており、在宅医療への対応が重要となる。

在宅医療提供体制の整備

- ✓ 地域包括ケア病棟を設置し、急性期治療が終了した患者の在宅復帰に向けた支援を行う体制を整備している。
- ✓ 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設して看取りを含む在宅医療の提供を行うとともに、地域の訪問看護を行う人材の育成を行っており、地域医療構想でも医療圏での需要増加が見込まれている在宅医療提供の中心的役割を担っている。

救急基幹センターとしての役割

- ✓ 佐原病院は、救命救急センターを補完する役割として、救急基幹センターの指定を受けている。
- ✓ 香取地域の救急患者の搬送先として、軽症では受入数第1位、中等症・重症では第2位となっており、地域の救急医療の中心的役割を担っている。

地域災害拠点病院としての役割

- ✓ 地域災害拠点病院としてDMATを組織し、地域の災害医療の中心的機能を有している。一方で、本館建物の耐震強度が不足していることから、耐震化への対応が求められている。

医業収支比率の低下

- ✓ 医業収支比率が年々減少傾向にある。
- ✓ これは、医師の減少に伴い患者数が減少し、入院収益・外来収益共に大幅に減少していることが主な要因である。
- ✓ 医師1名体制の診療科が多く、医師数の減少が収益に大きな影響を及ぼすことが課題である。地域の医療ニーズに応え、収益を確保していくため、医師確保の取り組みが必要である。
- ✓ 減少傾向にある主要疾患では、外来経由、救急経由とも患者が減少している。特に需要が見込まれる救急医療については、断り報告の徹底を図るとともに、断り事例の分析による受入体制の整備が求められる。

在宅医療の充実

- ✓ 香取海匝地域の高齢化の現状や当院の入院患者の実態を踏まえると、地域の在宅医療に対する需要は今後高まることが見込まれており、訪問看護・居宅介護支援事業を充実していくことで、収益増を図ることが必要である。

今後担うべき病院機能

- ✓ 佐原病院は香取地域における中核的な地域医療を担っているが、県保健医療計画では、地域完結型の一般医療については、小回りのきいた医療サービスが提供できるよう地域の自治体等が中心となって、新たな医療提供体制の枠組みへの再構築を進めることとされている。
- ✓ 病床機能の分化、連携、在宅医療の推進を図ることを定めている香取海匝区域の地域医療構想を踏まえ、佐原病院が担っていくべき機能を地域の自治体等と検討していく必要がある。